

危機管理連絡会議

日時：平成 25 年 10 月 4 日（金）17:30 ~

場所：県庁 4 階 共用 405 会議室

協議事項

- 1 高知県安芸郡東洋町の甲浦地先における猛毒の巻貝（アンボイナ貝）の確認について

記者発表・資料提供			
月日(曜日)	担当課等	TEL	担当者
10月4日(金)	水産課 企画管理担当	2471	宮本 和田

猛毒の針を持つ貝「アンボイナ貝」にご注意ください!!

高知県安芸郡東洋町の甲浦地先において、巻貝の一種で、猛毒を持つ「アンボイナ貝」が見つかったとの報告が、本日、兵庫県の「姫路市立水族館」から届きました。

この貝は、口内に猛毒を注入する毒針を持っており、万一刺されると、場合によっては死亡することもある大変危険な貝ですので、十分ご注意ください（詳しくは、別紙参照）。

なお、本日、南部総合県民局産業交流部（美波）から、阿南市以南の関係漁業協同組合に対し、別紙による注意喚起を行っております。

アンボイナガイ（イモガイ科）

潮間帯の岩礁やサンゴ礁の間に住む大型のイモガイ。殻は薄く、真ん中が膨れた樽形である。殻には複雑な網目のように入りこんだ模様があり、2~3列の濃色の横帯ができている。攻撃的な性質で、歯舌は矢のような形で毒腺を持ち、魚類を襲って食べる。採集者の手にもこの歯を打ち込み、数時間以内に死に至らしめるほどの猛毒を持つ。殻長：10cm前後、分布：紀伊半島以南（学習研究社「学研生物図鑑 貝I」より抜粋）



【注意】猛毒の針を持つ貝が見つかっています!

高知県の甲浦において、エビ網に南方系の猛毒の巻貝がかかりました。軍手の上からも刺されることがあり、刺されると死亡するおそれもある大変危険な貝ですので、十分ご注意ください。

アンボイナ貝(沖縄での通称:ハブ貝)

- 10cm以上に成長する南方系の巻貝。
- 今回見つかったのは殻長12cmのものと10cmのもの2個体。
- 口内に猛毒を注入する毒針を隠し持つ。
- 毒はコノトキシンという神経毒。
- 本種は有毒のイモガイ類の中でも特に死者や重症者が多い。



刺された場合は一刻も早く心臓に近い所を紐などで縛り、毒を吸い出し、医療機関を受診する必要があります。

【経緯】

姫路市立水族館が水族館展示用として高知県漁協甲浦支所の漁業者から購入したものの中に、アンボイナガイが2個体混じっていることが確認され、近隣の徳島県にも本日(10月4日)情報提供があった。

【今回採集されたアンボイナガイの情報】

採集日 10月1日頃

採集個体数 2個体

採集地 高知県安芸郡東洋町甲浦地先

漁 法 エビ網

大きさ 殻長12cmおよび10cm

南部総合県民局産業交流部(美波)
水産振興担当

電話 0884-74-7380
FAX 0884-74-7378